

前略

東アジア反日武装戦線の高裁判決が、たぶん九月上旬ごろに出るでしょう。刑の確定・執行まで、彼らに残された時間は、もうほんとはすこしです。

それにつけても、彼らが選んだその果敢な行動への賛否を超えて、人間的なやさしさ、市井にあったときのご誠実な生き方、そして何よりも人々に伝えようとした「反日」の意味の重大さを、いま改めて想起される方は多いと思います。

その一方、彼らに加えられているきびしい弾圧と孤立化！その裏返しとしての一般世論への威迫は、私たちの日常周囲を重く恐怖の空気で包んで、その名前さえ、口にするのを憚るし沈黙を強制してきました。

このような状況は、たとえやさやかでも、まず私たち自身が大きぴらに声をあげること、打破る以外にありません。

そこで私たちは、高裁判決が出る前後を目安として、いろんなたちや立場を問わず、東アジア反日武装戦線について、あからさまの大きぴらにそれぞれの声で語り、自由なうたい、あるいは芝居や踊りなど、おもいおまいの表現での快賛も加えて、できる限りの大集会を開こうと思いはらしました。

もとより無組織・無資金・別して非力な個人が一人一人と集まってもいざいざ、どうしても多く有志の方の

